

2019 年選挙管理計画 (EAP) の補足

本文書はオレンジ郡有権者登録 (OCROV) 2019 年選挙管理計画 (EAP) の補足であり、2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙の統一運営のために州務長官 (SOS) が最近発表した選挙管理ガイドを考慮に入れて当初の EAP が調整される領域を明らかにすることを目指します (最終改定日 - 2021 年 7 月 16 日)。

投票センターの数式および考察

§4005(a)(10)(I)(vi)(I)

OCROV の当初の 2019 EAP で概説されているように、投票権法 (VCA) は登録済みの有権者数を基にして投票センター数を決定する際の数式を確立しています。この数式により、郡は登録済みの有権者 50,000 名ごとに 1 か所の投票センターを 11 日間、有権者 10,000 名ごとに 1 か所の投票センターを 4 日間提供する必要があります。VCA で概説されている数式を基にすると、必要最小限は選挙から 88 日前の登録済みの投票者総数を基に算出されます (E-88)。

これと 2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙のオレンジ郡などの VCA 郡のものとを比較すると、選挙法規セクション 4005 または 4007 のいずれかによって過去に行われた選挙では、登録済みの有権者 60,000 名ごとに 1 か所の投票センターを 11 日間、登録済みの有権者 30,000 名ごとに 1 か所の投票センターを 4 日間提供することが許可されています。この数式で使用された登録済みの有権者数は 2021 年 2 月 10 日現在の有権者登録数によるものです。

今回の 2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙に備えて、OCROV は 11 日間の投票センターを 31 か所、4 日間の投票センターを 33 か所の合計 64 か所の投票センターでこの要件を満たします。

投票回収場所の数式および考察

§4005(a)(10)(I)(vi)(II)

さらに、OCROV の当初の 2019 EAP で説明するように、VCA は郡が登録済みの投票者 15,000 名ごとに投票回収場所を少なくとも 1 か所提供するように求めています。E-88 の有権者登録データは各市や非合併地域に必要な投票回収場所数を決定するために

分析されます。2021年9月14日、カリフォルニア州知事リコール選挙の統一運営のために州務長官（SOS）が最近発行した選挙管理ガイドでは、この要件は変わりません。

2021年9月14日、カリフォルニア州知事リコール選挙では、オレンジ郡などのVCA郡は「管轄区内の登録済みの投票者15,000名ごとに投票回収場所を少なくとも1か所提供する」となっています。投票回収場所の最小数は2021年2月10日の登録レポートの有権者登録総数に基づいて算出されます。

オレンジ郡の有権者登録総数は増え、必要な投票回収場所数は現在は120です。OCROVは今回の2021年9月14日、カリフォルニア州知事リコール選挙の間、全部で120の投票回収場所（下記のように、常設の投票回収箱とスタッフを配置する投票回収場所の組み合わせ）を運営し、オレンジ郡の登録済みの投票者15,000名ごとに少なくとも1か所の投票回収場所を設置します。

投票回収場所120か所のうち、4か所はスタッフを配置する投票回収場所、残りの116か所は常設の投票回収箱です。すべての116か所の常設投票回収箱は2021年8月16日月曜日から選挙日の2021年9月14日火曜日午後8時まで、週7日、1日24時間有権者が利用できます。スタッフが配置されるほかの4か所の投票回収場所は、郡投票情報ガイドならびにOCROVウェブサイトに掲載のように、2021年8月16日月曜日から選挙日までその地域の通常の営業時間に有権者が利用できます。

有権者教育およびアウトリーチ計画の概要

§4005(a)(10)(I)(i)、§4005(a)(10)(I)(i)(VI)

OCROVでは、地域組織や利害関係者との新たな関係を育て、現在の投票センターモデルに従ってコミュニティパートナーとの既存の関係を引き続き強化して参ります。

2020年初期の投票センターモデルへの当初の移行では、OCROVはオレンジ郡の有権者に投票センターモデルを導入しようとして一般メディア計画を確立しました。当時、OCROVはできるだけ多くの有権者に働きかけようと広範なアプローチを複数回行いました。OCROVはソーシャルメディア、ダイレクトメール、印刷物、放送、動画、オンライン、ラジオを合わせたアプローチを取り、報道発信の領域を飽和させ、かなりの数の有権者への働きかけに成功しました（法定要件をはるかに上回る平均で有権者あたり

インプレッション 10 回)。 増えた有権者は今では投票センターモデルに精通しており、切り詰められた時間枠では、今回のカリフォルニア州知事リコール選挙のアウトリーチ活動はさらに集中して行う必要があります。

2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙に備えて、OCROV は投票オプションや投票期間・場所についての情報を有権者に広めるために、Facebook、Twitter および Instagram のソーシャルメディアプラットフォームの使用を拡大しています。このソーシャルメディアキャンペーンは 2020 年 11 月の計画の成果をしっかりと反映し、ISP データのマイクロターゲティングを通してオレンジ郡のほとんどの有権者に働きかけます。ラジオや印刷物による広告も複数の言語で利用されます。この他に、OCROV はダイレクトメール用のはがきを作成し、オレンジ郡の 180 万の有権者全員に郵送されます。このはがきは、公式郵送投票用紙、最寄りの投票センター、ならびに投票回収場所についての情報を有権者に提供します。このはがきは翻訳され、中国語、韓国語、スペイン語、およびベトナム語の有権者にご利用いただけます。さらに、オレンジ郡の有権者には今回の 2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙期間中の投票オプションについての情報を有権者に伝えることを目的としたメッセージメールが送信されます。

また、OCROV は投票オプション、最寄りの投票センターの探し方、ならびに投票回収場所に関する情報を伝えるために、有権者を対象とした仮想公開ワークショップも複数回開催する予定です。OCROV は 8 月下旬に、EAP 公聴会を開催する予定で、一般市民はこの公聴会で EAP の更新に関するフィードバックや考えを提供するように要請されています。

2019 EAP は 2020 年のオレンジ郡における投票の投票センターモデルを実施するための基礎と誘導する概要を提供しましたが、オリジナルプランのこの補足では、2021 年 9 月 14 日、カリフォルニア州知事リコール選挙のために州務長官 (SOS) が最近発行した選挙管理ガイドに対応するように適応しなければならない、当初の EAP のこれら領域の注目点に重点的に取り組んでいます (最終改定日 - 2021 年 7 月 16 日)。